

社会福祉法人八ヶ岳名水会（北杜市）「ブリッジスクール」による生涯学習と社会参加に関する取組

社会福祉法人八ヶ岳名水会について

- ・平成5年より、障害者の地域生活を支援する社会福祉事業を行う。知的障害者を主に、精神、身体、盲ろう及び発達障害や触法など、多様なニーズに対応した総合的な支援を行ってきた。
- ・法人活動地は中山間地であり少子高齢化の傾向が著しく、地域社会は求心力を失い住民同士のつながりも希薄となっている。障害者は地域に点在化することとなり、障害ゆえに自ら社会とつながることも難しく孤立しがちである。
- ・平成26年度より、地元地域社会の再活性化を目的とした公益事業「日野春學舎」構想に取り組み、「農福連携」「ブリッジスクール」「アート企画」の3部門で活動中。
- ・「ブリッジスクール」は、制度の狭間にあって社会参加に課題を抱える障害者と向き合う。社会の中で傷つき躓いても、仲間と学び直し再挑戦することで自信を取り戻して再び自分の足で歩き出し、自己決定を繰り返す事で人生の主体者となることができる。自己決定から生じた結果は、例え失敗であっても気持ちはくじけず、その先につながっている。



「ブリッジスクール」による学びの構成・特徴

【トライコース】

- ・隔週の土曜日、年間全20回の講座を開設する。（6月～2月、9時30分～12時）
- ・受講生が自ら決めた学習内容を元に、自己決定・自己発信を促しながら講座を進め、一般就労を目標の一つとする。
- ・各分野で経験豊富な地域住民等を外部講師として招聘し、質の高い講義を提供。

【つどいコース】

- ・「トライコース」開講日の午後実施。
- ・年間を通して何時でも参加自由。
- ・お茶会やゲーム等を気軽に楽しみながら、主にひきこもりの方の社会参加を支援する。

【ブリッジラボ】

- ・「トライコース」修了生へのアフターフォローとして、希望者が参加する勉強会を開催。
- ・参加者の自主自発的な運営を大切に支援する。

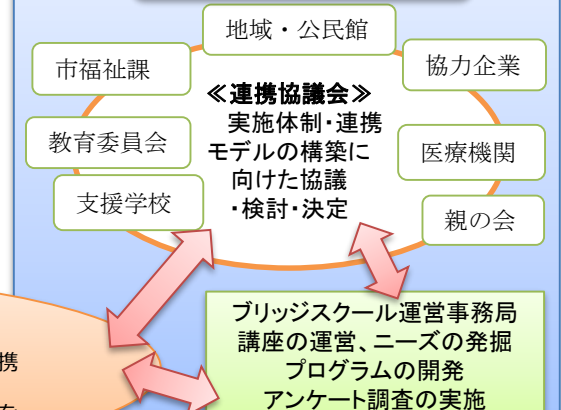
【有償ボランティア】

- ・福祉就労と一般就労の間をつなぐ中間的雇用の場。
- ・当法人内及び受け入れ先企業にて、時間を掛けて経験を積み、自信をつけて次のステージを目指す。

【コーディネーターの配置】

- ・産業カウンセラーかつ社会福祉士
- ・永年産業カウンセラーとして企業のメンタルヘルスに携わった経験を活かして受講生を支援
- ・トライコースの講座講師及びブリッジラボのメンターを担当するとともに、研究全体をコーディネート

地域との連携体制



その他の取組

【アンケート調査】

- ・「生活が楽しく、豊かになる活動や学び」をテーマに、活動の有無、参加実態、満足度、今後希望する活動について調査。
- ・当事者、保護者、支援者の三者を対象に実施し、地域の実態について多角的な把握を目指した。

【雇用啓発研修】

- ・企業等一般向けに、障害者への理解啓発を目的とした研修会を開催。自分たちの思いを発表したいという受講生からの申し出を受けて企画。

